

05/9期決算説明会資料

05年11月16日

 **富士製薬工業株式会社**

FujiPharma

2005年9月期業績

1. 貸借対照表
2. 損益計算書
3. キャッシュ・フロー計算書
4. 各利益率
5. 回転率、その他の経営指標
6. 1株当り指標と配当性向
7. 設備投資額、減価償却費、研究開発費
8. 2006年9月期業績予想

- 1. 貸借対照表

(単位:千円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	04/9期	05/9期	前期比増減	科 目	04/9期	05/9期	前期比増減
流 動 資 産	9,810,398	9,270,668	539,730	流 動 負 債	3,110,219	2,644,536	465,683
【主な変動】				【主な変動】			
現金及び預金	2,359,924	2,083,090	276,834	未払金	639,814	339,517	300,297
売掛金	3,185,315	3,305,024	119,709	未払法人税等	351,702	126,634	225,068
有価証券	1,500,289	600,341	899,948				
仕掛品	241,657	599,389	357,731	固 定 負 債	587,977	609,987	22,009
固 定 資 産	4,416,442	4,920,263	503,821				
(有形固定資産)	3,114,511	3,349,438	234,926	負 債 合 計	3,698,196	3,254,523	443,673
【主な変動】							
建物	1,974,137	1,874,358	99,779	資 本 の 部			
建設仮勘定	18,320	350,700	332,379	資 本 金	1,616,950	1,616,950	0
(無形固定資産)	76,254	199,554	123,299	法 定 準 備 金			
【主な変動】				資本準備金	2,226,020	2,226,020	0
販売権	0	110,000	110,000	剰 余 金	6,685,674	7,093,438	407,763
(投資その他の資産)	1,225,675	1,371,271	145,595	(うち当期末処分利益)	2,246,141	2,635,308	389,166
資 産 合 計	14,226,841	14,190,931	35,909	資 本 合 計	10,528,644	10,936,408	407,763
				負 債 ・ 資 本 合 計	14,226,841	14,190,931	35,909

- 2. 損益計算書

(単位:千円)

科目	04/9期	構成比	05/9期	構成比	前期比増減	
売上高	9,694,761	100.0%	10,128,644	100.0%	433,883	4.5%
売上原価	5,396,557	55.7%	5,602,737	55.3%	206,179	3.8%
売上総利益	4,298,203	44.3%	4,525,907	44.7%	227,704	5.3%
販売費及び一般管理費	2,862,241	29.5%	3,537,951	34.9%	675,710	23.6%
営業利益	1,435,962	14.8%	987,956	9.8%	448,005	31.2%
営業外収益	18,310	0.2%	20,430	0.2%	2,119	
営業外費用	6,974	0.1%	12,155	0.2%	5,180	
経常利益	1,447,298	14.9%	996,231	9.8%	451,066	31.2%
特別利益	4,530	0.1%	-	-	4,530	
特別損失	40,997	0.4%	94,210	0.9%	53,212	
税引前当期純利益	1,410,830	14.6%	902,020	8.9%	508,809	36.1%
税金等	556,841	5.8%	324,858	3.2%	231,983	
当期純利益	853,989	8.8%	577,162	5.7%	276,826	32.4%

- 3. キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	04年9月期	05年9月期	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー			
【抜粋】			
税引前当期純利益	1,410,830	902,020	508,809
減価償却費	340,997	429,632	88,635
売上債権の増加額	237,236	150,716	86,520
棚卸資産の増加額	67,059	486,858	419,798
長期前払費用の増加額	117,951	2,539	115,412
仕入債務の増加額	137,215	58,623	78,592
営業活動によるキャッシュ・フロー	854,114	338,058	516,056
投資活動によるキャッシュ・フロー			
【抜粋】			
有形固定資産の取得等による支出	640,013	1,053,286	413,272
無形固定資産の取得等による支出	18,664	180,499	161,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	787,298	1,336,603	549,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,086	178,236	7,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,744	0	2,745
現金及び現金同等物の減少額	101,526	1,176,782	1,075,256
現金及び現金同等物の期首残高	3,961,741	3,860,214	101,526
現金及び現金同等物の期末残高	3,860,214	2,683,431	1,176,782

- 4. 各利益率

売上高利益率

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
売上高営業利益率	14.4%	14.8%	9.8%
売上高経常利益率	16.8%	14.9%	9.8%
売上高当期利益率	9.3%	8.8%	5.7%

総資本利益率

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
総資本営業利益率	9.7%	10.5%	7.0%
総資本経常利益率	11.3%	10.6%	7.0%
総資本当期利益率	6.3%	6.3%	4.1%

株主資本利益率

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
株主資本営業利益率	12.6%	14.1%	9.2%
株主資本経常利益率	14.7%	14.2%	9.3%
株主資本当期利益率	8.1%	8.4%	5.4%

(注) 総資本、株主資本は、前、当期末平均値を使用

- 5. 回転率、その他の経営指標

総資本回転率・株主資本回転率

(単位: 回)

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
総資本回転率	0.68	0.71	0.71
株主資本回転率	0.88	0.95	0.94

その他回転率

(単位: 回)

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
有形固定資産回転率	3.83	3.52	3.13
売上債権回転率	2.63	2.57	2.55
たな卸資産回転率	5.01	5.70	5.12

(注) 貸借対照表項目は前・当期末平均値を使用

流動比率、固定比率、固定長期適合率

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
流動比率	372.4%	315.4%	350.6%
固定比率	34.8%	41.9%	45.0%
固定長期適合率	32.9%	39.7%	42.6%

(注) 固定長期適合率 = 固定資産 / (固定負債 + 資本合計)

- 6. 1株当たり指標と配当性向

1株当たり指標

(単位:円)

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
1株当たり当期純利益	64.61	71.12	47.33
1株当たり配当金	13.00	14.00	14.00
1株当たり株主資本	829.28	886.42	920.32

- (注) 1. 1株当たり当期純利益の株式数は、期中平均株式数による。
2. 1株当たり純資産の株式数は、期末株式数による。
3. 当期の期中平均株式数及び期末株式数は、自己株式数を控除した株式数。
4. 1株当たり当期純利益及び1株当たり株主資本は、当期純利益から役員賞与予定額を控除して計算。

発行済株式総数

決算期	03/9期	04/9期	05/9期
発行済株式総数	11,868,130株	11,866,390株	11,866,390株

(注) 当期末の発行済株式総数は、自己株式数を控除した株式数。

配当性向

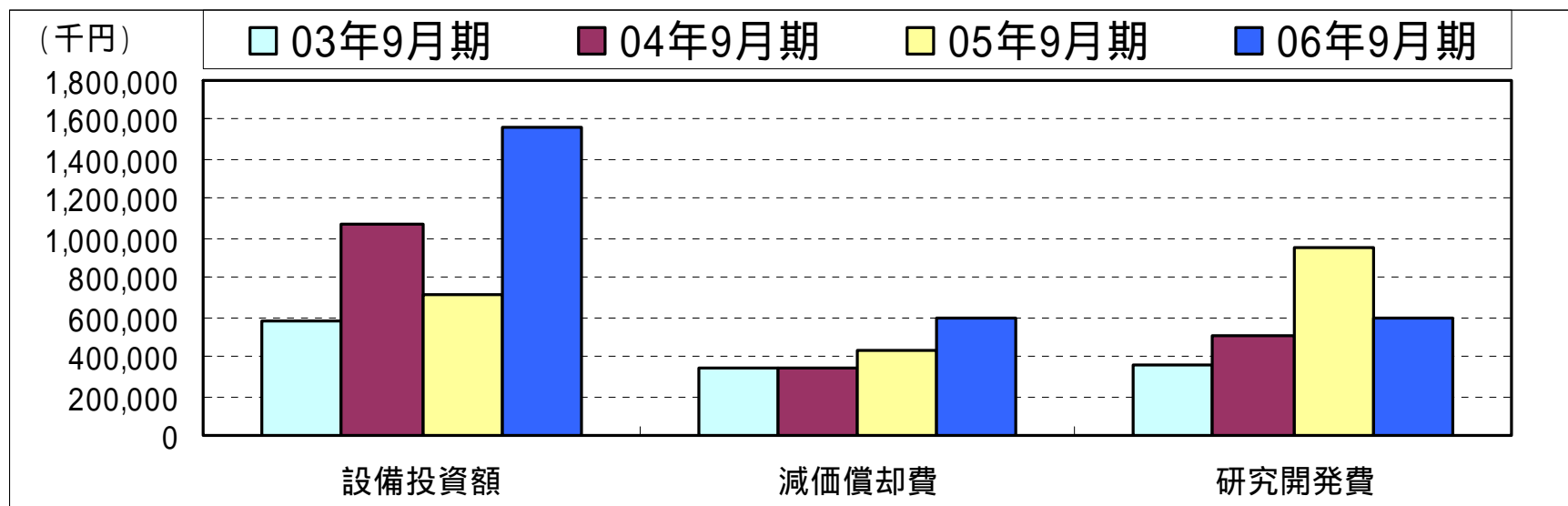
決算期	03/9期	04/9期	05/9期
配当性向	20.1%	19.7%	29.6%

(注) 配当性向は1株当たり配当金を1株当たり当期純利益で除して計算

- 7. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位:千円)

	03/9期		04/9期		05/9期		06/9期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	予定	前期比
設備投資額	574,417	48.5%	1,069,917	86.3%	714,016	33.3%	1,560,000	118.5%
減価償却費	339,831	19.3%	340,997	0.3%	429,632	26.0%	590,000	37.3%
研究開発費	352,882	4.3%	508,978	44.2%	955,359	87.7%	600,000	37.2%

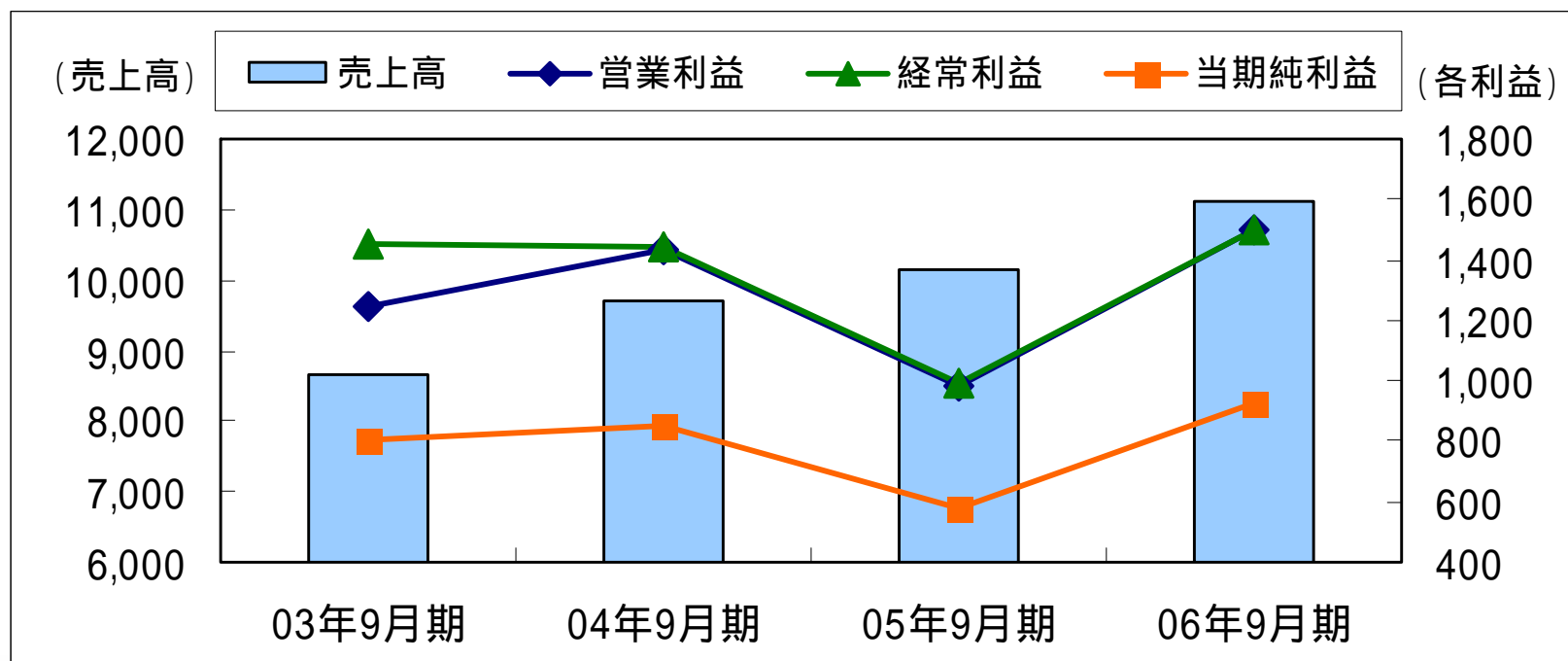


- 8. 2006年9月期業績予想

2006年9月期（05年10月1日～06年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
					中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	5,400	700	700	430	7 00	—	—
通期	11,100	1,500	1,500	930	—	7 00	14 00

参考：1株当たり予想当期純利益（通期） 78円37銭



販売の状況

1. 薬効分類別売上高
2. 主要製品売上高
3. 薬価改定推移と過去業績

- 1. 薬効分類別売上高

(単位：千円)

薬効分類	03/9期		04/9期		05/9期		
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
診断用薬	2,842,149	32.8%	3,690,203	38.1%	3,867,817	38.2%	4.8%
ホルモン剤	2,517,085	29.0%	2,483,726	25.6%	2,725,979	26.9%	9.8%
循環器官用薬	905,854	10.4%	1,023,405	10.6%	1,001,447	9.9%	2.1%
体外診断用医薬品	588,449	6.8%	596,435	6.1%	571,931	5.6%	4.1%
抗生物質及び化学療法剤	532,436	6.1%	543,544	5.6%	524,142	5.2%	3.6%
外皮用薬	387,773	4.5%	391,838	4.0%	387,136	3.8%	1.2%
泌尿・生殖器官系用薬	341,119	3.9%	327,859	3.4%	309,416	3.1%	5.6%
その他	561,271	6.5%	637,747	6.6%	740,776	7.3%	16.2%
合計	8,676,135	100.0%	9,694,761	100.0%	10,128,645	100.0%	4.5%

- 2. 主要製品売上高

(単位：千円)

順位	薬効分類	製品名	売上高			
			03/9期	04/9期	05/9期	前期比
1	診断用薬	オイパロミン	2,121,457	2,826,314	2,939,872	4.0%
2	循環器官用薬	アリプロスト	662,463	798,574	800,483	0.2%
3	診断用薬	イオパーク	406,423	517,607	585,865	13.2%
4	ホルモン剤	HMGフジセイヤク	504,493	455,736	469,172	2.9%
5	診断用薬	注射用グルカゴンFS	314,269	346,279	342,079	1.2%
6	ホルモン剤	フォルルモンP注	178,274	206,481	250,500	21.3%
7	ホルモン剤	フセレキア	227,373	244,231	249,452	2.1%
8	ホルモン剤	ハイコート注	225,647	217,536	213,690	1.8%
9	ホルモン剤	HCGフジセイヤク	221,571	212,350	201,957	4.9%
10	ホルモン剤	注射用ソル・メルコート	129,493	162,715	199,162	22.4%
上位10位までの合計(*1)			5,062,915	6,024,966	6,252,232	3.8%
全売上に占める比率			58.4%	62.1%	61.7%	

(*1) 03/9期及び04/9期は当期の上位10位の合計金額

- 3. 薬価改定推移と過去業績

期	薬価引き下げ率		当社の業績(単位:百万円)					
	業界平均	当社	売上高	前年比増減	経常利益	匿名組合投資利益	修正経常利益(*1)	前年比増減
98/9期	9.7%	11.3%	5,085	7.1%	759	215	545	32.1%
99/9期			5,578	9.7%	1,610	664	946	73.7%
00/9期	7.0%	11.0%	5,855	5.0%	852	150	702	25.8%
01/9期			6,152	5.1%	1,022	159	863	23.0%
02/9期	6.3%	15.0%	6,853	11.4%	1,077	245	832	3.6%
03/9期			8,676	26.6%	1,455	212	1,243	49.4%
04/9期	4.2%	7.2%	9,694	11.7%	1,447	-	1,447	16.4%
05/9期			10,128	4.5%	996	-	996	31.2%

(*1) 修正経常利益は、匿名組合投資損益を除いたもの

環境変化と方向性

1. 環境変化
2. 経営課題
3. 基本方針
4. 基本戦略
5. 数値目標

-1. 環境変化

ジェネリック医薬品市場を取り巻く環境変化

06年 - 医療制度構造改革

DPC拡大、処方せん変更/GE薬使用促進

05年薬事制度の改善、会社法制の整備

企業行動の多様化？ 資本市場の変化？

過剰競合数 + 超大手外資攻勢の本格化

日本的過当競争体質の限界

市場拡大、機会増大



収益悪化、敗者退場

-2. 経営課題

世界的にGE薬企業の共通課題
売上高の増加 収益の増加へのリンク

GE薬の最初の市場投入・獲得 (GE薬
勝組条件)、次にコスト競争力の維持

+ 当社の課題

競争優位な生存領域の確保、拡大
戦略的な成長路線への転換、零細脱皮
独自の中長期パイプラインの組立て

-3. 基本方針

『生存領域で抜きん出る』

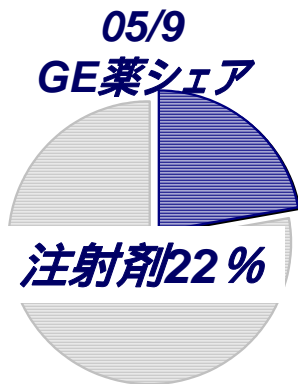
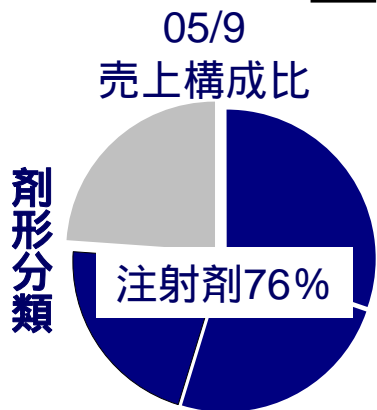
生存領域で経営資源を全部・集中投入
積極的なアライアンス、戦略品の獲得
戦略品を軸に最適な事業運営体制づくり

生存領域収益の引上げ

生存領域

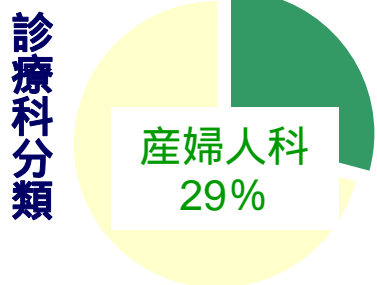
注射剤/GE薬売上トップ、GE薬シェア22%
産婦人科/品目数68、GE薬シェア88%
ホルモン剤/高収益、GE薬シェア68%

-4. 基本戦略



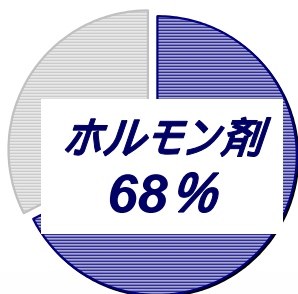
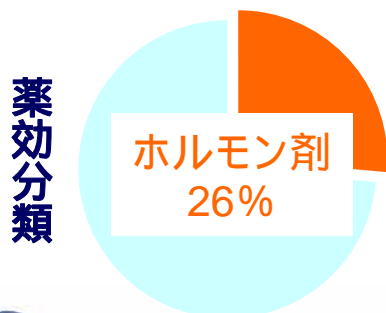
注射剤/ 事業ドメイン

急性期入院医療向け品揃え拡大
多品種量産、基幹病院営業体制構築
積極的なアライアンス、M&A



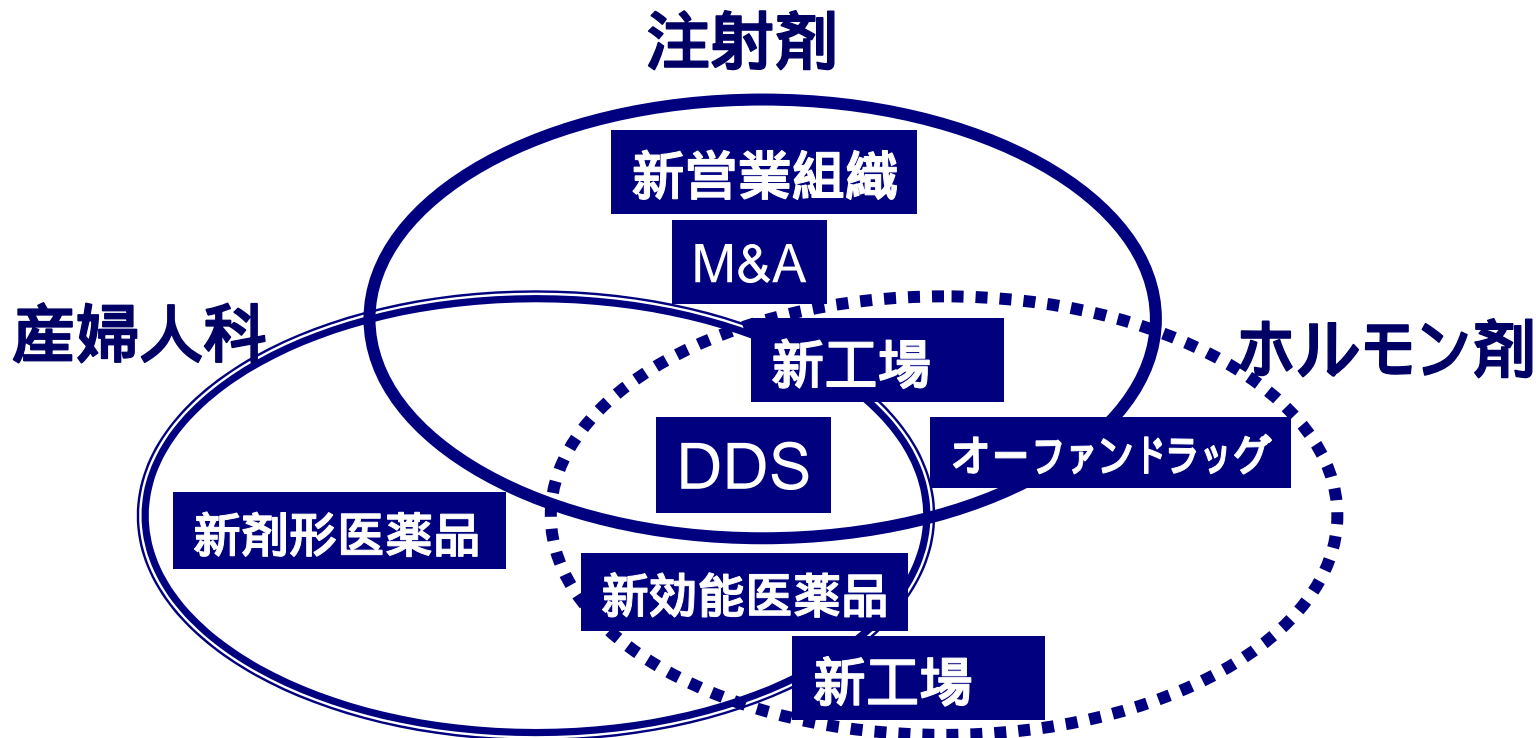
産婦人科/ 固有・独占分野

優先投資、新薬開発/販売権獲得
GE薬+新薬、補完モデル構築



ホルモン剤/ コア技術、高収益
DDS製剤の開発、供給体制確立
ホルモン剤工場新設、受託開始
オーファンドラッグの開発

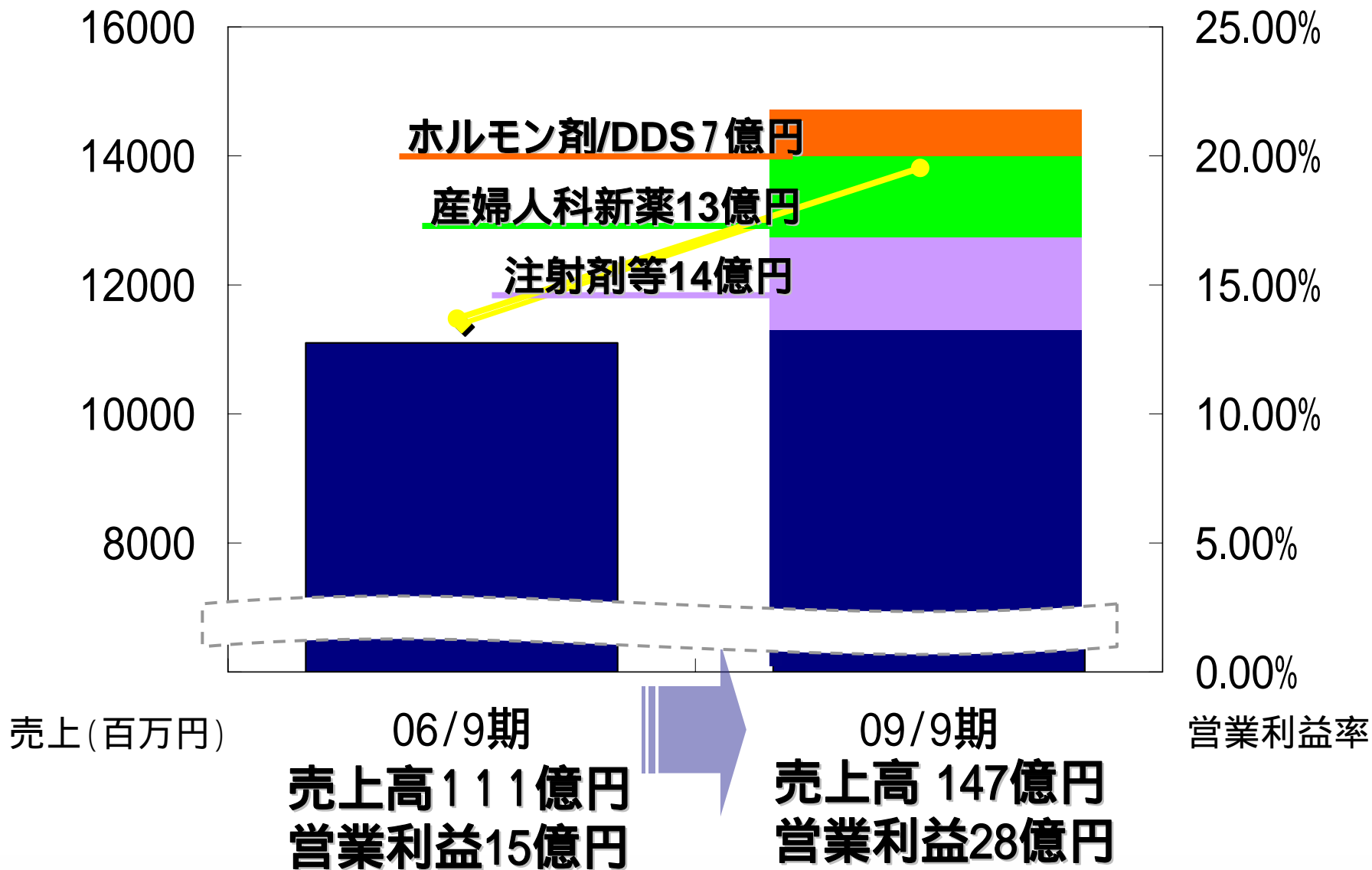
-4. 基本戦略



06/9-09/9戦略予算:

開発・販売権15～20億円、開発25億円、設備20億円
+ M&A

-5. 数値計画



■経営理念■ 富士製薬工業の土台となる基本的な指針、存在意義を示すもの
医薬品を通じて社会に貢献する

人に尽くすことがわたしたちの使命、目的、幸せです。

企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する

企業活動を通じて人材を育成することを大切にしています。

■ミッション■ 理念に基づくわたしたちの約束、大切に考える考え・想い、目指す姿を示すもの
人々の痛みや障害の改善、克服に役立つ医薬品の開発、製造、販売を通して社会に貢献します。
自社の強み、勝てる戦いに集中し、独自の企業力の充実、発展、継続に努めます。
お客様の立場を貫き、お客様と共に新たな価値を創る、お客様と相乗的に発展します。
フェアでオープンな風土、学習と人間的成長、成長と発展の機会、社員満足を尊重します。

■行動指針■ わたしたちが心がけること、優先すること、実践することを示すもの
お客様の要望を十分に理解するだけでなく、お客様にとってのお客様・患者様の要望も視野に入れて、お客様と共に新しい価値を考えます。
会社の仕組みの簡素化・効率化を推進、会社活動を行う目標、方法、手順を共有し、やるべきことだけに集中します。
ネットワーク形成を通じた外部資源の内部資源化、自己資源・パワーの最適な集中投入により、自己の強みの充実に努めます。
会社活動、自主的な取り組みを通して、無くてはならない優位性、見事な独自性、高い専門性の充実、人間的成長をはかります。
人の生命に関与する誇り、人に尽くす・人に尽くせる喜び・幸せ、人へのありがたい・感謝の気持ちを大切にします。

本日は、お忙しい中、ご来場頂き、誠にありがとうございました。



富士製薬工業株式会社

<お問い合わせ先>

管理部マネージャー 本郷 茂

東京都千代田区紀尾井町3番19号

TEL : 03 - 3556 - 3344

FAX : 03 - 3556 - 4455

Email: shigeru_hongo@fujipharma.jp

URL : <http://www.fujipharma.jp>